

朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置) 工事

図面リスト

01	特記仕様書(1)
02	特記仕様書(2)
03	特記仕様書(3)
04	特記仕様書(4)
05	配置図、仮設計画図、案内図
06	校舎1階平面図
07	校舎2階平面図
08	校舎3階平面図
09	体育館1階平面図
10	体育館2階平面図

A.工事概要

①工事名称

朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事

②主要用途

学校(中学校)

③工事種別

・新築

・増築

・改築

・大規模改修

・空調改修

◎消火設備改修

④工事場所

高山市朝日町立岩地内

⑤都市計画法等

都市計画区域

・都市計画区域内(

・市街化区域

・市街化調整区域

◎その他)

◎都市計画区域外

用途地域

・第一種低層住居専用地域

・第二種低層住居専用地域

・第一種中高層住居専用地域

・第二種中高層住居専用地域

・第一種住居地域

・第二種住居地域

・準住居地域

・近隣商業地域

・商業地域

・準工業地域

・工業地域

・工業専用地域

用途地域の指定のない区域

防火地域

・防火地域

・準防火地域

◎指定なし

その他の指定

・建築基準法第22条指定区域内

・建築基準法第22条指定区域外

◎指定なし

⑥工事建物の概要

区分	普通教室棟	屋内運動場棟				備考
構造	RC造	RC造				
階数	3階	2階				
延べ床面積	2,736㎡	1,372㎡				
建築面積						

⑦工事種目

◎印の付いたものが対象工事

建物別及び屋外 工事種別	工事種別					
	普通教室棟	屋内運動場棟				
・空調設備						
・換気設備						
・排煙設備						
・自動制御設備						
・その他設備						
・						
・衛生器具設備						
・給水設備						
・排水通気設備						
・給湯設備						
◎消火設備	改修一式	改修一式				
・ガス設備						
・厨房器具設備						
・さく井工事						
・浄化槽設備						
・その他設備						
・						
・						
・						
・						
・						

8別途工事

・建築工事

一式

・電気設備工事

一式

・昇降機設備工事

一式

・電話工事

一式

・搬送設備工事

一式

・解体工事

一式

B.工事仕様書

1一般仕様

1)新設工事共通仕様書(A.7工事種目において新設・増設一式とあるもの)

(1)特記仕様、図面及び現場説明書(現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)による。

(2)電気設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事は電気設備工事の仕様書を適用する。

2)改修工事共通仕様書(A.7工事種目において改修・撤去一式とあるもの)

(1)特記仕様書、図面及び現場説明書(現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)による。

(2)電気設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事は電気設備工事の仕様書を適用する。

3)設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(1)～(5)の順番とおりとする。

(1)質問回答書

(2)現場説明書

(3)特記仕様

(4)図面

(5)標準仕様書及び標準図

2特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項のうち選択する事項は、◎印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
1 一般 共通 事項	①書類の書式等	本工事の施工に関して提出する書類は、特記仕様書(一般)による。
	②工事実績情報の登録	工事請負金額500万円以上(消費税込)の工事について、工事実績情報を登録することとする。(登録先(財)日本建設情報総合センター)
	③概成工期	総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。
	④電気保安技術者	◎適用する。・適用しない。
	⑤事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通知するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。
	⑥機材等	<div>1.本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。 ただし、仮設工事材料、リサイクル製品及び特に指定したものは新品でなくともよい。 これらの機器、機材は監督員の承諾を受け施工する。</div> <div>2.主要材料については、契約後、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。</div> <div>3.設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。</div>
	⑦機材の品質・性能証明	使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(c)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
	⑧機器姿図	姿図の形状及び寸法は、概略を示す。
	⑨再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出	特記仕様書(一般)による。
	10電気工事士	<div>・最大電力500kw以上の場合、第一種電気工事士のより施工を行う。</div> <div>・最大電力500kw未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。</div>
	⑪技能士	<div>1)技能士の適用は、次の職種による。</div> <div>◎配管(建築配管作業)◎熱絶縁施工(保温保冷工事作業)・建築板金(ダクト板金作業)</div> <div>・冷凍空調と機器施工(冷凍空調と機器施工作業)・空気圧縮装置組立て(空気圧縮装置組立て作業)・塗装</div> <div>・さく井(・パーカッション式さく井工事作業・ロータリー式さく井工事作業)・鉄工(・製缶作業・構造物鉄工作業)</div>

2)本工事は前項で指定する職種別に1名以上の一級又は二級技能士が作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うよう努めること。

| | 12足場さん橋類 | ・別契約の関係受注者(包含工事の場合は元請)が設置したものは無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 足場を設ける場合は「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、同ガイドライン「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合するてすり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、同ガイドライン「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により、足場の組立、解体又は変更の作業を行う。 |

工事名	朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事		
図名	特記仕様書(1)		
縮尺	1/ー	番号	10枚の内1号
設計年月日	令和7年月		
設計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木和幸	

高山市

1 一般 共通 事項	⑪ その他	<p>① 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>② 本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は岐阜県内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は岐阜県産とするよう努めること。</p> <p>③ 屋外で使用する鋼材等は、（ ・溶融亜鉛めっき仕上げ ㊦ステンレス鋼材 ）とする。</p> <p>④ ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について。</p> <p>（1）ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。</p> <p>（2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。</p> <p>5. 屋外設置のマンホール類には用途名を入れる。</p> <p>⑥ 天井内に設置する、点検、操作等を要する機器、バルブ等の最寄りの点検口（裏面）に機器名、用途、系統名等を表記すること。</p> <p>またメンテナンスを要する機器についてはその旨を表記する。</p> <p>⑦ 現場内の資材の保管に当たっては直射日光、風雨に曝されないよう十分な対策を講じること。（屋根下での保管、棚での保管等）</p> <p>8. P S点検口まわりの配管には管種、流れ方向がわかるよう表記すること。</p> <p>⑨ 系統、管種ごとに色分けし施工図を作成すること。</p> <p>10. ポンプ、ボイラー等機器類周りの配管は、機器の更新が容易にできるよう、フランジ接続とするなど配慮すること。</p> <p>11. P S内バルブは容易に交換ができるよう、フランジ接続とするなど配慮すること。</p> <p>12. 給排気ファン周りのダクト接続は、機器の更新が容易にできるよう、短管を挿入するなど配慮すること。</p> <p>⑬ 完成時に提出する「建物管理者への引き渡し書類」に、工事対象設備の日常点検、定期点検、点検項目等を記した維持管理計画書、点検チェックシートを添付すること。また各主要機器には簡易なマニュアル、系統説明書を配備すること。</p> <p>⑭ 設備配管の管種が多いため、施工中の誤配管を防止するため施工途中配管へのマーキング、記録など配慮すること。</p> <p>⑮ 隠ぺい部(天井・ビツ等)の系統、管種が明確になるよう、管表面にラベルなどを設けること。(設置間隔等は監督員との協議による)</p> <p>⑯ 現場において発生する騒音・振動等は極力防止し、校舎内での授業、近隣住民等への影響を少なくして施工日、施工時間を考慮のうえ学校関係者と事前協議を行い施工するものとする。又、現場に面する道路は通学路となっている為、登下校の時間帯には工事車両の出入り、作業車による作業時等には監視員を配置して作業を行う。</p> <p>⑰ 外壁吹付面へのコア抜き・アンカー打ちを行う場合は、 湿潤・集塵などの措置を行い粉じんの飛散を防ぐこと。</p> <p>⑱ 外壁コア穿孔箇所吹付仕上げ、内装ボード類については、撤去・穿孔などを行う場合はアスベスト分析調査を行いアスベストの含有が認められた場合はアスベスト含有建材として処分する。</p> <p>⑲ RC造躯体にコア穿孔を行う場合は、事前に鉄筋探査を実施して躯体の鉄筋を切断しないよう配慮する。</p>
	改修関係事項	<p>1 改修共通仕様書</p> <p>2 再使用機器</p> <p>3 既設との取合い</p> <p>4 足 場</p> <p>5 施工調査</p> <p>6 仮設間仕切</p> <p>7 養生</p> <p>8 既設ダクトの再利用</p> <p>9 非破壊検査等</p> <p>10 試 験</p> <p>11 撤去工事</p>

給水設備	① 配管材料	(1)一般配管 ・ステンレス鋼管(SUS304) ・ポリ粉体鋼管(・ PA ・ PB) ㊦塩ビライニング鋼管(㊦ VA ・ VB) 上記の選択で、ポリ粉体鋼管または塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房・浴室等のシンダー内配管は(・ PD ・ VD)とする。
	2 引き込み納付金	(2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管(SUS316)(・ 建物内 ・ 屋外部分) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(・ HIVP ・ VP) ・ ポリエチレン管(屋外埋設部分) ・ ポリ粉体鋼管(PD) ・ 塩ビライニング鋼管(VD)
	3 量 水 器	(3)水道直結配管 引込みは水道事業者の手定による。量水器以降は(1)及び(2)による。
	4 量水器樹	・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
排水設備	5 水 栓 柱	親メーター (・ 貸与品 ・) 親メーターの形式(・ 直読 ・ パルス)
	6 管の地中埋設深さ	子メーター (・ 買取り ・) 子メーターの形式(・ 直読 ・ パルス)
	7 凍結深度	・ 水道事業者手定品(・ 貸与品 ・ 買取り) ・ 標準図M C形
		・ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム合金製
給湯設備	① 配管材料	埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より(・ 600mm ・ mm)以上
	2 洗面器等の排水管	その他の部分では管の上端より(・ 300mm ・ mm)以上
	3 試 験	・ 変位を吸収できるようにスリークッションとする。
	4 放流納付金	屋外配管の凍結深度は mmとする。
給湯設備	1 配管材料	(1)屋内 汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 耐火二層管
	2 保 温	・ コーティング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS認定品 VP)
	3 そ の 他	・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(R F－V P)
		・ 硬質ポリ塩化ビニル管(㊦ V P ・ V U)
消火設備	1 配管材料	・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(JIS認定品 VP)
	2 保 温	・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(R F－V P) ・ 耐火二層管
	3 そ の 他	・ 硬質ポリ塩化ビニル管(・ V P ・ V U)
		・ 配管用炭素鋼鋼管(白)
消火設備	1 配管材料	・ コーティング鋼管
	2 保 温	・ ビニル管
	3 そ の 他	・ 鉛管
		・ 硬質ポリ塩化ビニル管(・ V P ・ V U)
消火設備	1 配管材料	・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(R E P－V U)
	2 保 温	・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(R S－V U)
	3 そ の 他	・ コンクリート管(・ 外圧管1種のB形 ・)
		リサイクルビニル管の適用範囲(R F－V P)：屋内の無圧の排水配管用
消火設備	1 配管材料	(R E P－V U)：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管
	2 保 温	(R S－V U)：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用
	3 そ の 他	
消火設備	1 配管材料	(1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。
	2 保 温	(2)給湯室流し等の床上部分の配管は、硬質塩化ビニル管を使用してもよい。
	3 そ の 他	配管終了後に満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に行う試験は(・ 通水試験 ・ 煙試験)とする。
		・ 要(・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要
消火設備	1 配管材料	屋外設置のマンホール類には雨水、汚水等の用途名を入れること。
	2 保 温	
	3 そ の 他	
消火設備	1 配管材料	給湯管(膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む) ・ 耐熱性ライニング鋼管(SGP-HVA) ・ 鋼管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付き被覆鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管
	2 保 温	・ ステンレス鋼管(給水管に準ずる) ・ ポリブデン管
	3 そ の 他	下記によるほか、標準仕様書第2編3.1.5による。
		・ 湯沸器の給排気筒(二重管)の隠ぺい箇所は表2.3.5のh・(イ)・Ⅸの保温を行う。
消火設備	1 配管材料	電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。
	2 保 温	
	3 そ の 他	
消火設備	1 配管材料	(1)屋内消火栓用 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40) ・ ステンレス鋼管(SUS304)
	2 保 温	地中 ・ 外面被覆鋼管(・ V S ・ V S (sch-40)) ・ ステンレス鋼管(SUS316)
	3 そ の 他	(2)屋外消火栓用 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40)
		地中 ・ 外面被覆鋼管(・ V S ・ V S (sch-40))
消火設備	1 配管材料	(3)連結送水用 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40)
	2 保 温	地中 ・ 外面被覆鋼管(・ V S ・ V S (sch-40))
	3 そ の 他	・ 易操作性1号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 ㊦パッケージ型消火設備Ⅰ型
		箱内に別途機器(発信機及び電鈴)取付用の板を設ける。
消火設備	1 配管材料	・ 1 0 K
	2 保 温	外面被覆鋼管の呼び径1 0 0以下はねじ接合とする
	3 そ の 他	・ 屋内・屋外露出部分 ・ ポンプ室内 ・ 有(標準仕様書第2編3.1.5の給水管の項による。) ・ 無

工事名	朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事		
図 名	特記仕様書(3)		
縮 尺	1/ー	番号	1 0 枚の内 3 号
設 計 年月日	令和 7 年 月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

電 気 設 備 工 事 仕 様 書

I, 工事概要

- | | |
|---------|-------------------------|
| 1. 工事名称 | 朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事 |
| 2. 工事場所 | 高山市 朝日町立岩 地内 |
| 3. 建物概要 | |

建 物 名 稱	構 造	階 數	延面積 (m ²)	消防法施行令別表第一	備 考
普通教室棟	棟 RC	3		7 項 ()	
屋內運動場	棟 RC	2		7 項 ()	
	棟				
	棟				
	棟				

4. 工事項目 (○ 印内に番号記入のもの及び ⊙ 印のみ適用する)

工事項目 \ 建物名称	普通 教室	屋内 運動場				屋 外 その他
	棟	棟	棟	棟	棟	
○ 幹線設備						
① 動力設備						
② 電灯設備						
・ 照明設備						
・ コンセント設備						
③ 表示、警報設備	○	○				
○ 構内配電線路（強電）						
○ 構内配電線路（弱電）						

5. 別途工事
・ 建築工事 ・ 機械設備工事

II. 工事仕様

1. 共通仕様 (◎印のみ適用する)

特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

- 工事請負契約書
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 最新版（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 最新版（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
- 公共建築改修工事標準仕様書 最新版（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
- 公共住宅建設工事共通仕様書 最新版（公共住宅事業者等連絡協議会監修）
- 内線規程 最新版（電気技術事業者調査委員会編集）
- 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様 (項目は番号に ○印記入のもの、選択式の特記事項は ⊙印のみ適用する)

	項 目	特 記 事 項
A 共 通 事 項	① 適用範囲（１）	この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書を含む）に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（最新版）による。
	② 適用範囲（２）	設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 １）質疑応答書 ２）現場説明書 ３）工事仕様書 ４）標準特記仕様書（添付された場合に限る） ５）図面 ６）公共建築改修工事標準仕様書 ７）公共建築工事標準仕様書
	③ 法規等の事項	本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。
	④ 配線器具	配線器具は、下記を標準とする。 ○大角形運用型 ○ワイドハンドル型（スイッチ）
	５ フラッシュプレート	プレートは、下記を標準とする。 ・ 樹脂製（洋風モダン） ・ 新金属製
	６ 別途工事	・ 電力会社外線工事員負担 ・ 電話機器納入、取付 ・ 光ケーブル（CATV）引込工事 ・ 有線放送引込及び機器納入、取付 ・ 警備保障配線工事及び機器納入、取付
	⑦ 工事方法	・ 電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。 ○ 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。 ・ 分電盤からの上立り予備配管として、予備の配線用遮断器が４個以下の場合はPF22を１本、５個以上の場合は２本以上天井裏まで立上げる。（露出配管の場合はC-25とする） ・ 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線（1.2m/mビニル被覆鉄線）を挿入する。 ○ 銅製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。（エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2回塗り） ○ 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。 ○ 建物内で、配管の１区間が3.0m以上となる場合は、途中にポリボックス又はジョイントボックスを設ける。 ・ FFP板（スタイロフォーム等）打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。（外壁部のみ） ○ ジョイントボックス等、配線器具を未装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。 ・ 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート（樹脂製、エッチング文字）を設ける。

共
通
事
項

- ⑧ その他

- ◎ 接地工事は下記による。

接 地 の 種 類		記 号	接 地 抵 抗 値
◎	第 D 種	E _D	100Ω以下

- ・ 接地極の附近には接地極埋設標を設け、種別、埋設位置、深さ、埋設年月日、接地抵抗測定値を明記する。
- ・ 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。
 (イ) 建築基準法 告示 第 3183 号に準拠
 (ロ) (財) 日本建築センター (ＢＣＪ) 防災評定品の使用

- ◎ 別途機器への接続は、本工事とする。
- ◎ 姿図の寸法、形状は参考とする。

幹線設備	1 電気方式	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 動力 三相3線式 200V ・ " 三相4線式 V ◎ 電灯 単相3線式 200/100V ・ " 単相2線式 200V ・ " 単相2線式 100V
	2 配線方法	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 鋼製電線管 ◎ 硬質ビニル電線管 (VE) ・ ケーブルラック ・ ケーブル配線
	3 分電盤	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 合成樹脂けとう電線管 (PF) ・ 金属ダクト ・ 緑び配線 ・
		<p>ドアの表面の充電部には、感電防止処置を施す。</p>

1 動力 設備	1 電 気 方 式	三相3線式	200V
	2 配 線 方 法	◎ 銅製電線管 <ul style="list-style-type: none"> ・ 硬質ビニル電線管（VE） ・ ケーブルラック ・ ケーブル配線 	
	3 制 御 盤	ドアの裏面の充電部には、感電防止処置を施す。	
	4 そ の 他	別途機器への接続は、本工事とする。	

2 電 灯 設 備	1 電 気 方 式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単相2線式 200V ◎ 単相2線式 100V
	2 配 線 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 銅製電線管 ・ 合成樹脂可とう電線管 (PF) ・ 硬質ビニル電線管 (VE) ・ 金属ダクト ・ ケーブルラック ・ 緑ひ配線 ◎ ケーブル配線 ・
	4 床付コンセント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワンタッチ飛び出し型 ・ インナー型 ・ ハイテンション型 ・ フリーアクセスフロアー適合品
	5 照度測定	照度測定を行い測定結果を係員に提出。

③表示・警報設備	① 配線方法	<ul style="list-style-type: none"> 銅製電線管 合成樹脂可とう電線管（ＰＦ） 硬質ビニル電線管（ＶＥ） 金属ダクト ケーブルラック 線び配線 ケーブル配線
	② 用途	<ul style="list-style-type: none"> 構内連絡用 トイレ呼出用 夜間受付用 防犯用 侵入警報用 警備保障設備
	③ その他	<p>下記に示す設備の配線、機器の取付等はメーカー責任施工とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警備保障会社用配管設備

構 内 配 電 線 路	1 電気方式（強電）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高 圧 三相3線式 6, 600V ・ 低 圧 三相3線式 200V ・ " 単相3線式 200/100V ・ " 単相2線式 200V ・ " 単相2線式 100V
	2 種 別（弱電）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放 送 ・ 電気時計 ・ 電 話 ・ 表示、警報 ・ インターホン ・ テレビ共聴 ・ 自火報 ・ LAN ・
	3 架 空 配 線	<p>(イ)引込等に使用する電柱は下記とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート柱 ・ 鋼管柱 ・ パンザーマスト <p>(ロ)腕金、碍子、支線等の架線器具は、所轄電力会社仕様による。</p>
	4 地 中 配 線	<p>(イ)布設方法： ・ 管路式 ・ 直接埋設式 ・</p> <p>ケーブル保護材料は下記とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE) ・ 波付硬質ポリエチレン管 (FEP) ・ ポリエチレンライニング鋼管 (PE) ・ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 厚鋼電線管（防蝕材巻き） (G管) <p>(ハ)埋設深度は、土冠り0.6m以上とする。</p> <p>(ニ)ハンドホール等の鉄蓋には、鋳型流し込みで用途名を明記する。</p> <p>(ホ)埋設標示杭は、地中線路の曲折部分、道路横断部分等に設ける。</p> <p>又、直線部分が30m続くごとに1本、30mに満たない場合はその間に1本設ける。</p> <p>(ヘ)埋設標示テープ（ダブル）を ・ 標示する ・ 標示しない</p>

建築工事

1. 仮設工事

- | | | |
|--------------------|--|--------------------------------|
| ・ 監督員事務所 | ・ m 程度 | ◎ 設けない |
| 種 別 | ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 | |
| 備 品 | () | |
| ② 工事用電力・用水 | 工事用電力 | ◎ 利用出来る (◎ 有償 ・ 無償) ・ 利用出来ない |
| | 工事用用水 | ◎ 利用出来る (◎ 有償 ・ 無償) ・ 利用出来ない |
| ※事前に施設管理者に了解を得ること。 | | |
| 3. 仮囲い・工事区画 | ・ 波形鉄板 H=1.80m | ・ 成形鋼板 H=3.0m |
| | ・ ガードフェンス H= m | ・ バリケード |
| 4. 危険防止 | ・ シート張り | |
| 5. 足場 | ※ 内、外部足場 (手すり先行足場) | |
| ⑥ 工事用進入路 | ・ 工事用進入路は、中学校敷地内を通るため登下校の時間帯を避けるか、生徒の安全最優先として入退出を行う。 | |

工事名	朝日中学校消火栓改修 (PAC消火設備設置) 工事		
図 名	特記仕様書 (4)		
縮 尺	N. S	番号	1 0 枚の内 4 号
設 計 年月日	令和 7 年 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

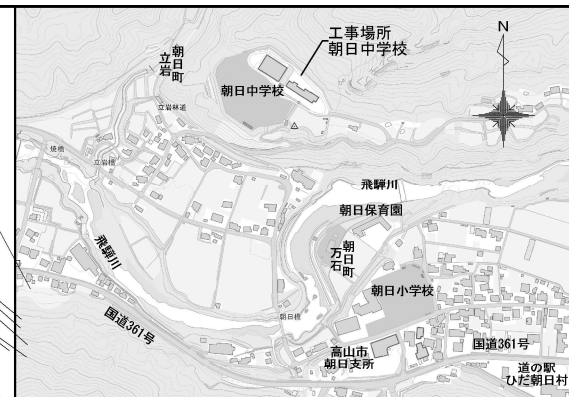
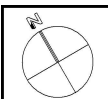
●特記仕様書 一般事項

・冬休み期間（予定）	令和7年12月27日から 令和8年 1月12日まで	問い合わせ先
学校閉庁期間（予定）	令和7年12月27日から 令和8年 1月 7日まで	
・春休み期間（予定）	令和8年 3月26日から 令和8年 4月 7日まで	

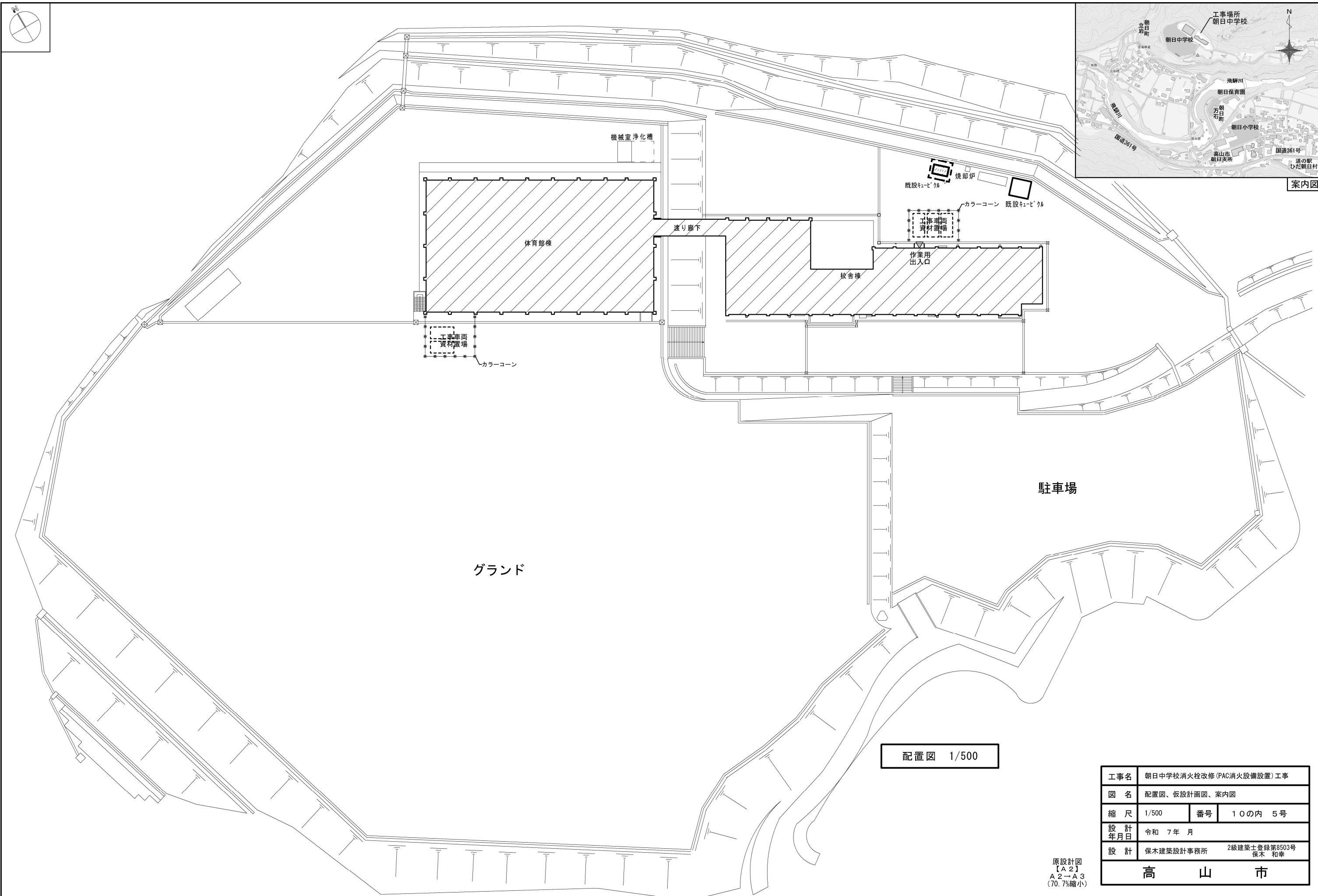
高山市教育委員会事務局 教育総務課
担当 石神 竜介
TEL0577-35-3153
FAX0577-35-3172

フレックス工期について

1. 本工事はフレックス工期による契約方式の試行工事であり、受注者は契約日から工事開始期限日までの期間で、任意の日を工事開始日とすることができる。この場合、契約日から工事開始日の前日までの期間は、主任技術者又は監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐及び現場代理人を配置することを要しないものとする。
2. 受注者は、フレックス工期を活用する場合は次のとおり実施するものとする。
 - (1)落札決定の通知後、契約締結日までの間で速やかに工事開始日を知するものとする。
 - (2)積算にあたっては、契約日を起算日とした工期日数分を工事期間としており、受注者が施工時期を選択することにより生じる経費については、受注者の負担とする。
 - (3)契約日から工事開始日の前日までの現場管理は、発注者の責任において行うこととし、受注者は資材の搬入や仮設物の設置等の行為をしてはならない。
 - (4)受注時の「工事实績コリンズ登録」は、工事開始日後に監督員の承認を受け、工事開始日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録機関に登録申請しなければならない。
なお、登録する技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとし、フレックス期間は含まないものとする。
 - (5)「現場代理人・技術届」は経歴書を添付して工事開始後、速やかに提出しなければならない。
 - (6)契約締結後に工事開始日を変更する必要がある場合には、速やかに発注者及び受注者で協議のうえ、工事開始日通知書の変更を提出し、変更契約を締結すること。
 - (7)低入札価格調査等により、入札執行通知又は入札公告に記載の工事開始期限日以降に契約締結となった場合には、契約締結日を工事の始期とし、工事の終期は工事開始期限日から工期日数を確保した日とする。



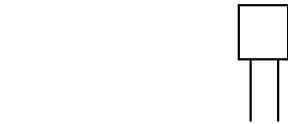
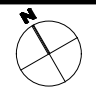
案内図



配置図 1/500

工事名	朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事		
図 名	配置図、仮設計計画図、案内図		
縮 尺	1/500	番号	1 0 の 内 5 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 月		
設 計	保本建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保本 和幸
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)



既設 PFH-1 (1階男女便所前)



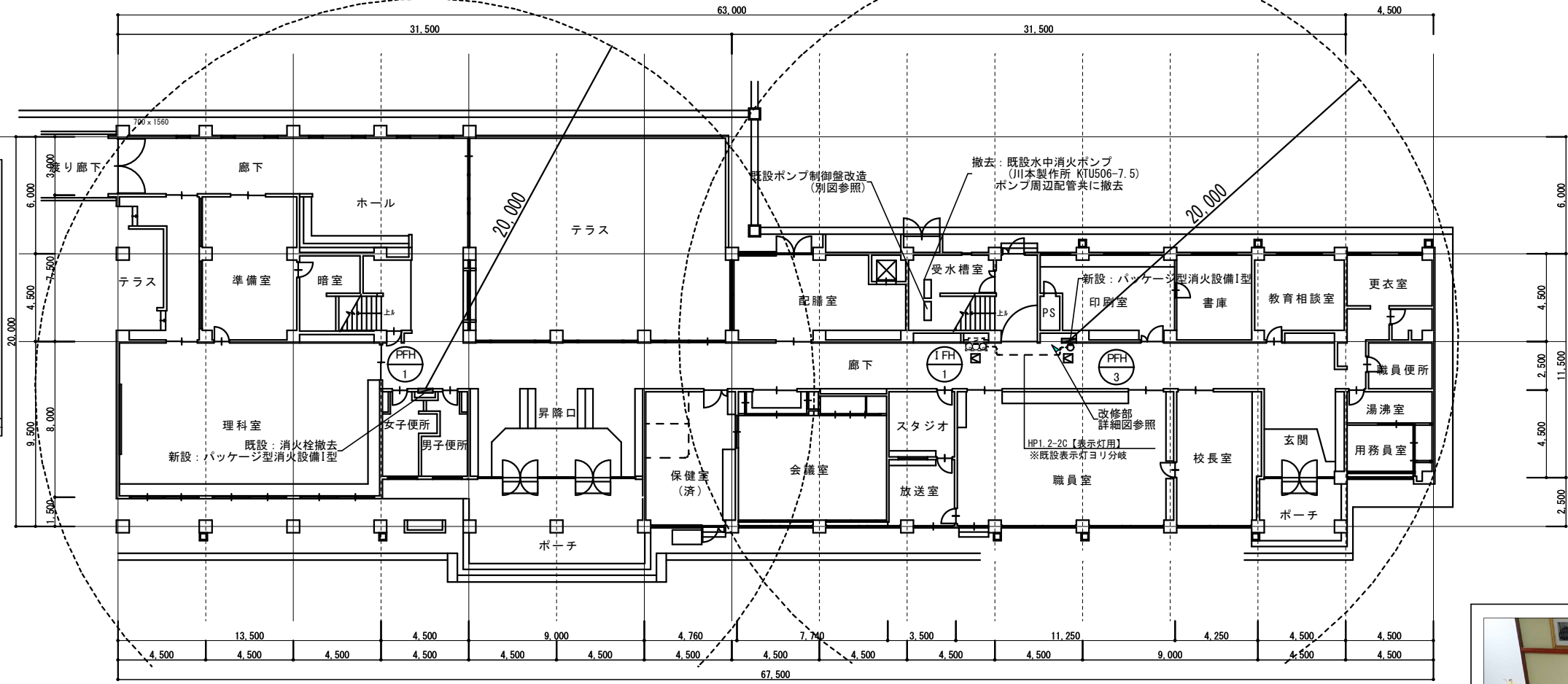
既設ポンプ制御盤
既設水中ポンプ+配管

受水槽室：既設水中ポンプ+消火栓ポンプ制御盤

衛生器具表			
記号	名称	器具仕様	備考
PFH-1	パッケージ型消火設備1型	埋込型 総合盤	* 1
PFH-2	パッケージ型消火設備1型	露出型 総合盤	
PFH-3	パッケージ型消火設備1型	露出型 表示灯	
PFH-4	パッケージ型消火設備1型	露出型 表示灯 (プロテクター)	
IFH-1	屋内消火栓 1号 (既設)	埋込型 総合盤改修	* 2

- * 1 既設屋内消火栓 撤去 パッケージ消火設備 新設
* 2 既設屋内消火栓 改修 (弁 ホース撤去、既設BOXの消火栓文字を消去、総合盤再利用)
☑ 新設：天井点検口

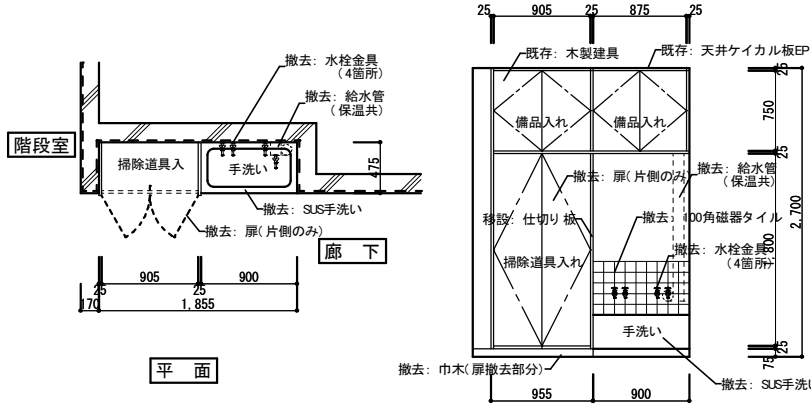
パッケージ型消火設備1型 露出・埋込 総合盤/表示灯仕様 認定番号 PG-053号	
本体仕様	全装備質量：約181kg(消火薬剤含む) 使用圧力：0.9±0.05MPa
格納箱	外観寸法 (露出)：750(幅)×1,360(高)×230(奥行)mm 外観寸法 (埋込)：750(幅)×1,350(高)×230(奥行)mm 材質：SPCC、塗装：合成樹脂粉末焼付塗装(日塗工 N-87) 発信機・ベル取付ベース付(発信・ベル：電気工事)
消火薬剤	第三種浸潤剤等入り水(品評第16~1号) 薬剤量：80.4L (約102kg)
放射時間/距離	185秒/約16.0m
使用温度範囲	-20℃~+40℃
ホース	Φ17.0(外径)×Φ13.0(内径)×25m



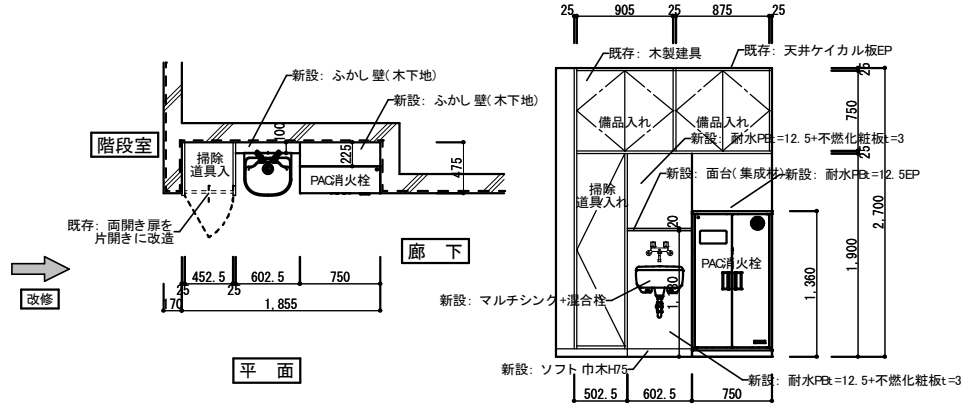
校舎1階平面図 1/200



既設 PFH-1 (1階廊下東側)



【既存】改修部分各図 1/50



【改修】改修部分各図 1/50



既設：掃除道具、備品入れ、手洗い

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事		
図 名	校舎1階平面図		
縮 尺	1/200	番号	1 0 枚の内 6 号
設 計 年月日	令和 7 年 8 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



既設：消火栓(2階男女便所前)



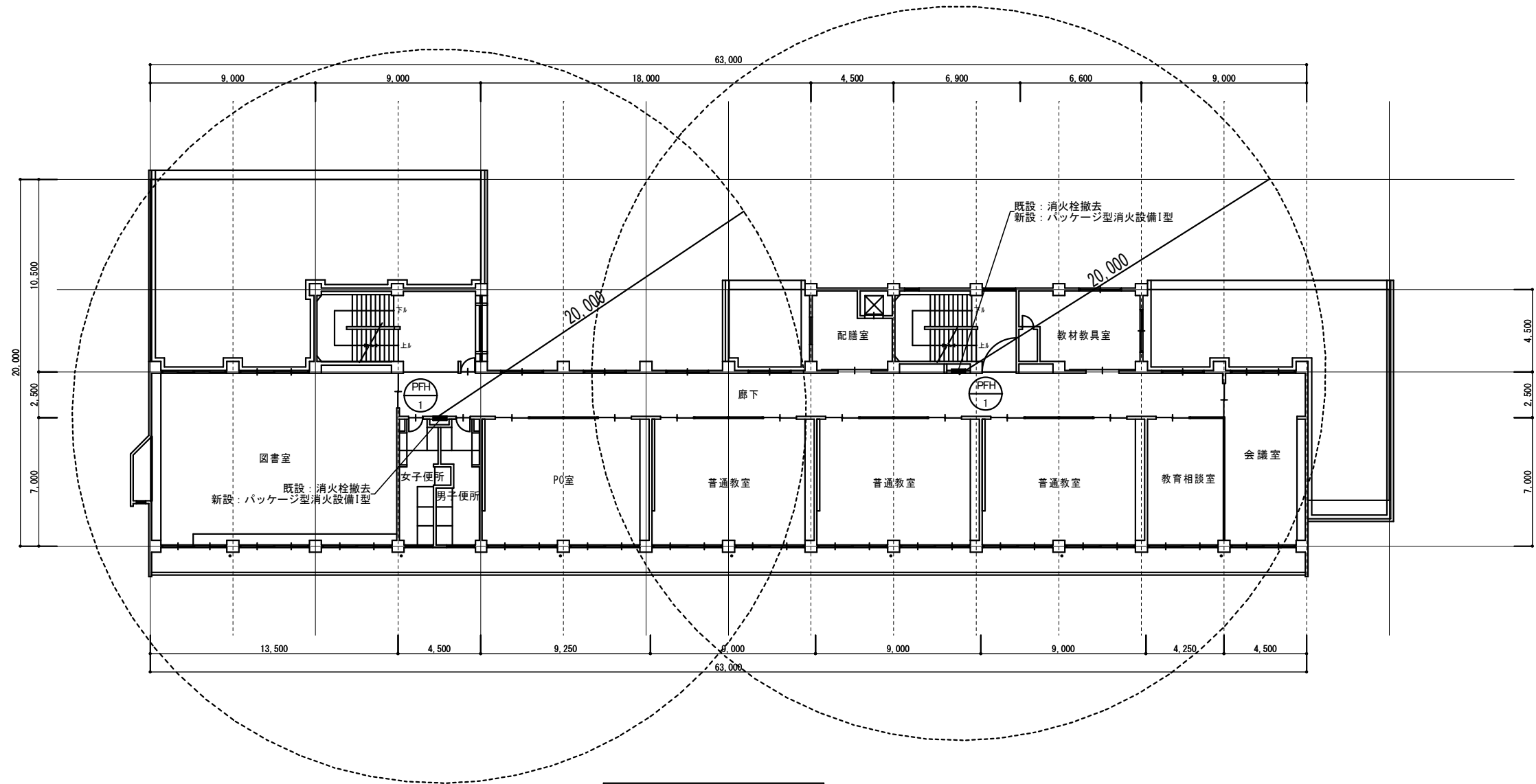
既設：消火栓(2階廊下東側)

衛生器具表			
記号	名 称	器具仕様	備考
PFH-1	パッケージ型消火設備I 型	埋込型 総合盤	* 1
PFH-2	パッケージ型消火設備I 型	露出型 総合盤	
PFH-3	パッケージ型消火設備I 型	露出型 表示灯	
PFH-4	パッケージ型消火設備I 型	露出型 表示灯(プロテクター)	
IFH-1	屋内消火栓 1号(既設)	埋込型 総合盤改修	* 2

- * 1 既設屋内消火栓 撤去 パッケージ消火設備 新設
* 2 既設屋内消火栓 改修(弁 ホース撤去、既設BOXの消火栓文字を消去、総合盤再利用)

☑ ー 新設：天井点検口

パッケージ型消火設備I 型 露出・埋込 総合盤／表示灯仕様 認定番号 PG-053号	
本体仕様	全装備質量：約181kg(消火薬剤含む) 使用圧力：0.9±0.05MPa
格納箱	外觀寸法 (露出)：750(幅)×1,360(高)×230(奥行)mm 外觀寸法 (埋込)：750(幅)×1,350(高)×230(奥行)mm 材質：SPCC、塗装：合成樹脂粉体焼付塗装(日塗工 N-87) 発信機・ベル取付ベース付(発信・ベル：電気工事)
消火薬剤	第三種浸潤剤等入り水(品評第16～1号) 薬剤量：80.4L (約102kg)
放射時間/距離	185秒/約16.0m
使用温度範囲	－20℃～＋40℃
ホース	Φ17.0(外径)×Φ13.0(内径)×25m



校舎2階平面図 1/200

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工 事 名	朝日中学校消火栓改修 (PAC消火設備設置) 工事		
図 名	校舎2階平面図		
縮 尺	1/200	番 号	1 0 枚 の 内 7 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 8 月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			



既設：消火栓(3階男女便所前)



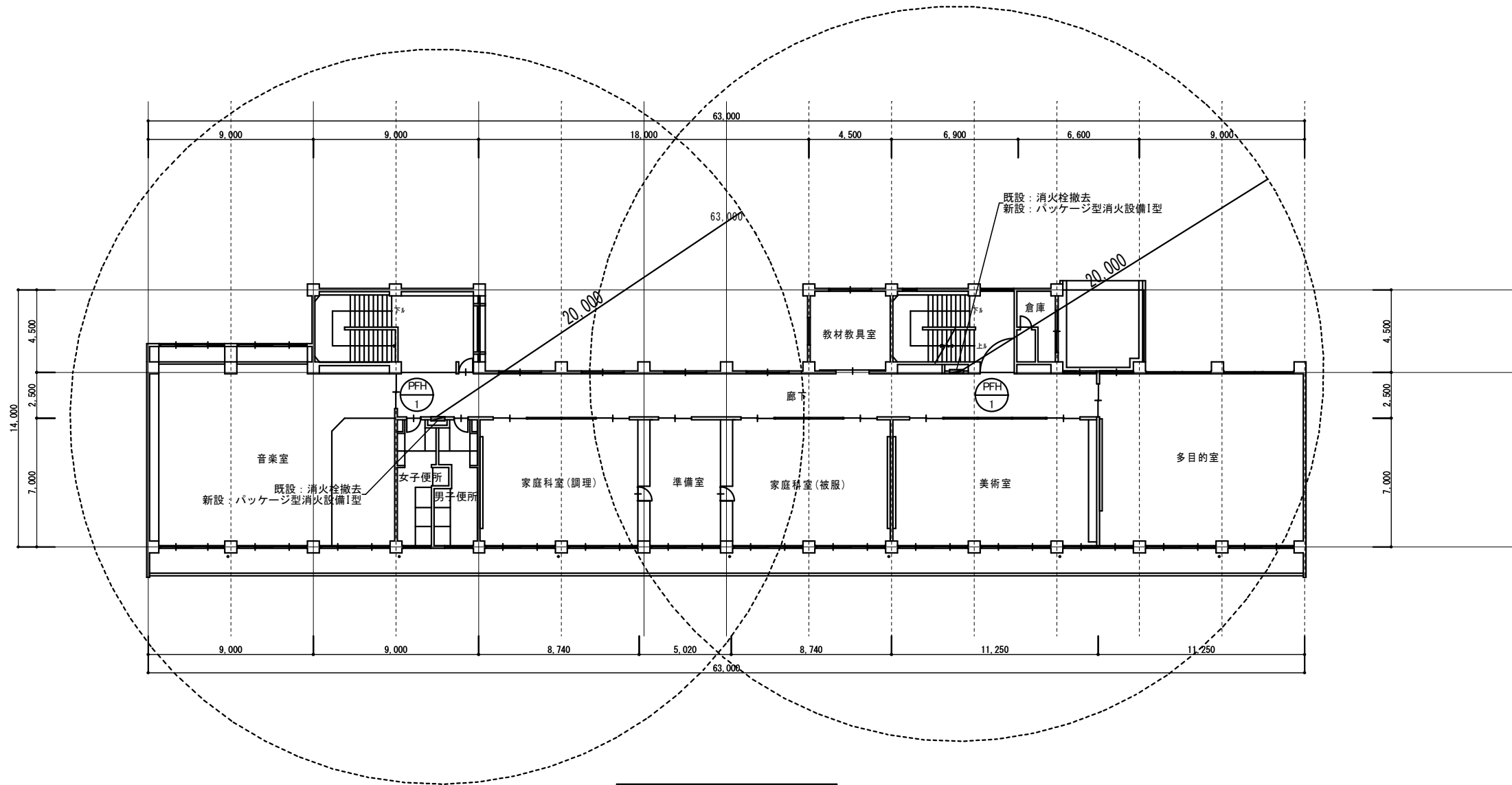
既設：消火栓(3階廊下東側)

衛生器具表			
記号	名 称	器具仕様	備考
PFH-1	パッケージ型消火設備1 型	埋込型 総合盤	* 1
PFH-2	パッケージ型消火設備1 型	露出型 総合盤	
PFH-3	パッケージ型消火設備1 型	露出型 表示灯	
PFH-4	パッケージ型消火設備1 型	露出型 表示灯(プロテクター)	
IFH-1	屋内消火栓 1号(既設)	埋込型 総合盤改修	* 2

- * 1 既設屋内消火栓 撤去 パッケージ消火設備 新設
* 2 既設屋内消火栓 改修(弁 ホース撤去、既設BOXの消火栓文字を消去、総合盤再利用)

☑ - 新設：天井点検口

パッケージ型消火設備1 型 露出・埋込 総合盤/表示灯仕様 認定番号 PG-053号	
本体仕様	全装備質量：約181kg(消火薬剤含む) 使用圧力：0.9±0.05MPa
格納箱	外観寸法 (露出)：750(幅)×1,360(高)×230(奥行)mm 外観寸法 (埋込)：750(幅)×1,350(高)×230(奥行)mm 材質：SPCC、塗装：合成樹脂粉末焼付塗装(日塗工 N-87) 発信機・ベル取付スペース付(発信・ベル：電気工事)
消火薬剤	第三種浸潤剤等入り水(品評第16~1号) 薬剤量：80.4L (約102kg)
放射時間/距離	185秒/約16.0m
使用温度範囲	-20℃～+40℃
ホース	Φ17.0(外径)×Φ13.0(内径)×25m



校舎3階平面図 1/200

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

工事名	朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事		
図 名	校舎3階平面図		
縮 尺	1/200	番号	10枚の内 8号
設計年月日	令和7年8月		
設計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

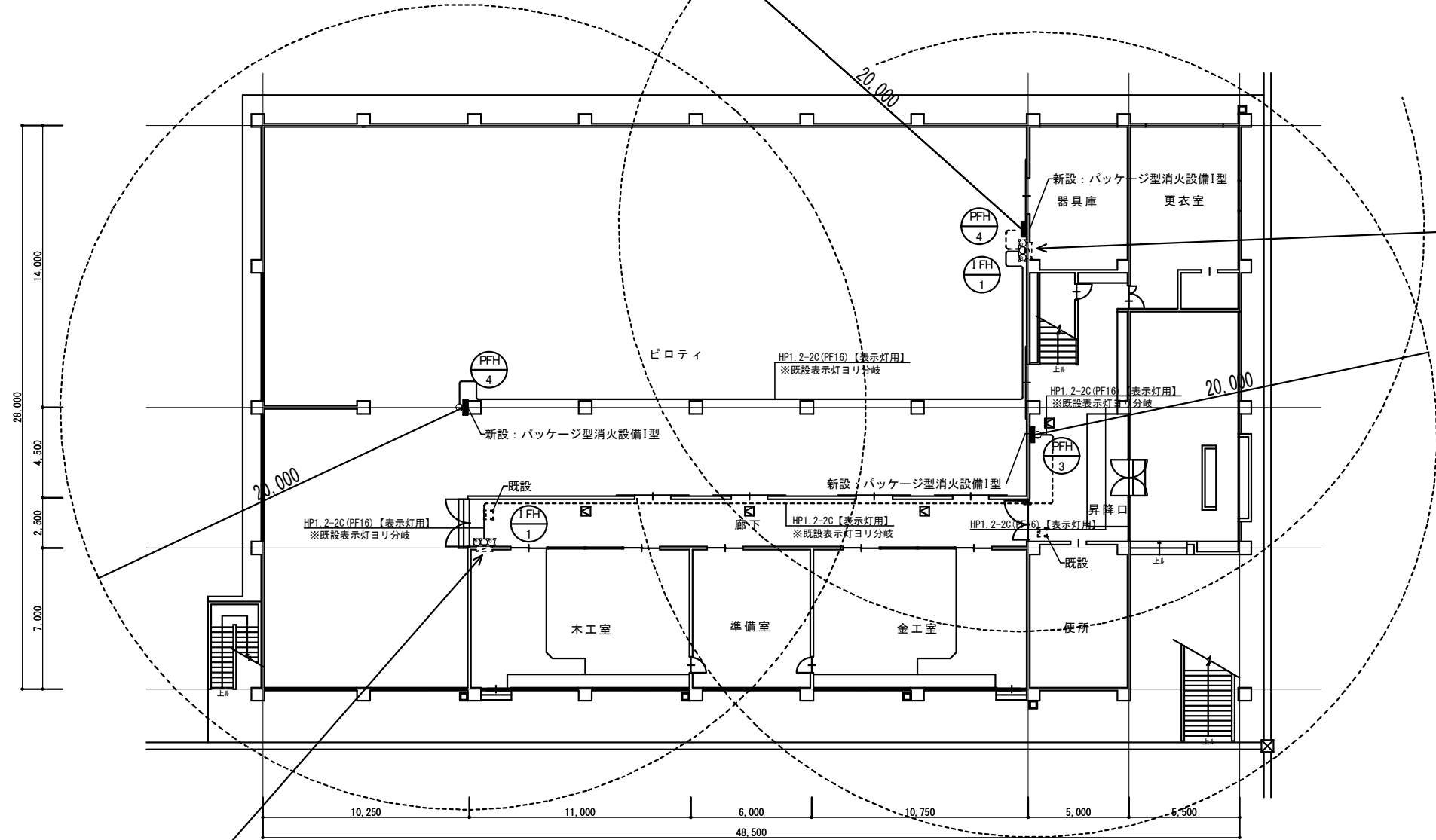


衛生器具表			
記号	名 称	器具仕様	備考
PFH-1	パッケージ型消火設備1 型	埋込型 総合盤	* 1
PFH-2	パッケージ型消火設備1 型	露出型 総合盤	
PFH-3	パッケージ型消火設備1 型	露出型 表示灯	
PFH-4	パッケージ型消火設備1 型	露出型 表示灯 (プロテクター)	
IFH-1	屋内消火栓 1 号 (既設)	埋込型 総合盤改修	* 2

- * 1 既設屋内消火栓 撤去 パッケージ消火設備 新設
* 2 既設屋内消火栓 改修 (弁 ホース撤去、既設BOXの消火栓文字を消去、総合盤再利用)

☑ - 新設：天井点検口

パッケージ型消火設備1 型 露出・埋込 総合盤／表示灯仕様 認定番号 PG-053号	
本体仕様	全装備質量： 約181kg(消火薬剤含む) 使用圧力： 0. 9±0. 05MPa
格納箱	外觀寸法 (露出)： 750(幅) ×1, 360(高) ×230(奥行) mm 外觀寸法 (埋込)： 750(幅) ×1, 350(高) ×230(奥行) mm 材質： SPOC、 塗装：合成樹脂粉体焼付塗装(日塗工 N-87) 発信機・ベル取付スペース付(発信・ベル： 電気工事)
消火薬剤	第三種浸潤剤等入り 水 (品評第16～1号) 薬剤量： 80. 4L (約102kg)
放射時間/距離	185秒/約16. 0m
使用温度範囲	－20℃～+40℃
ホース	Φ17. 0(外径) × Φ13. 0(内径) ×25m



既設：消火栓(体育館1階ピロティ)

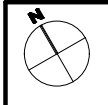


既設：消火栓(体育館1階廊下)

体育館1階平面図 1/200

工 事 名	朝日中学校消火栓改修 (PAC消火設備設置) 工事		
図 名	体育館1階平面図		
縮 尺	1/200	番 号	1 0 枚 の 内 9 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)

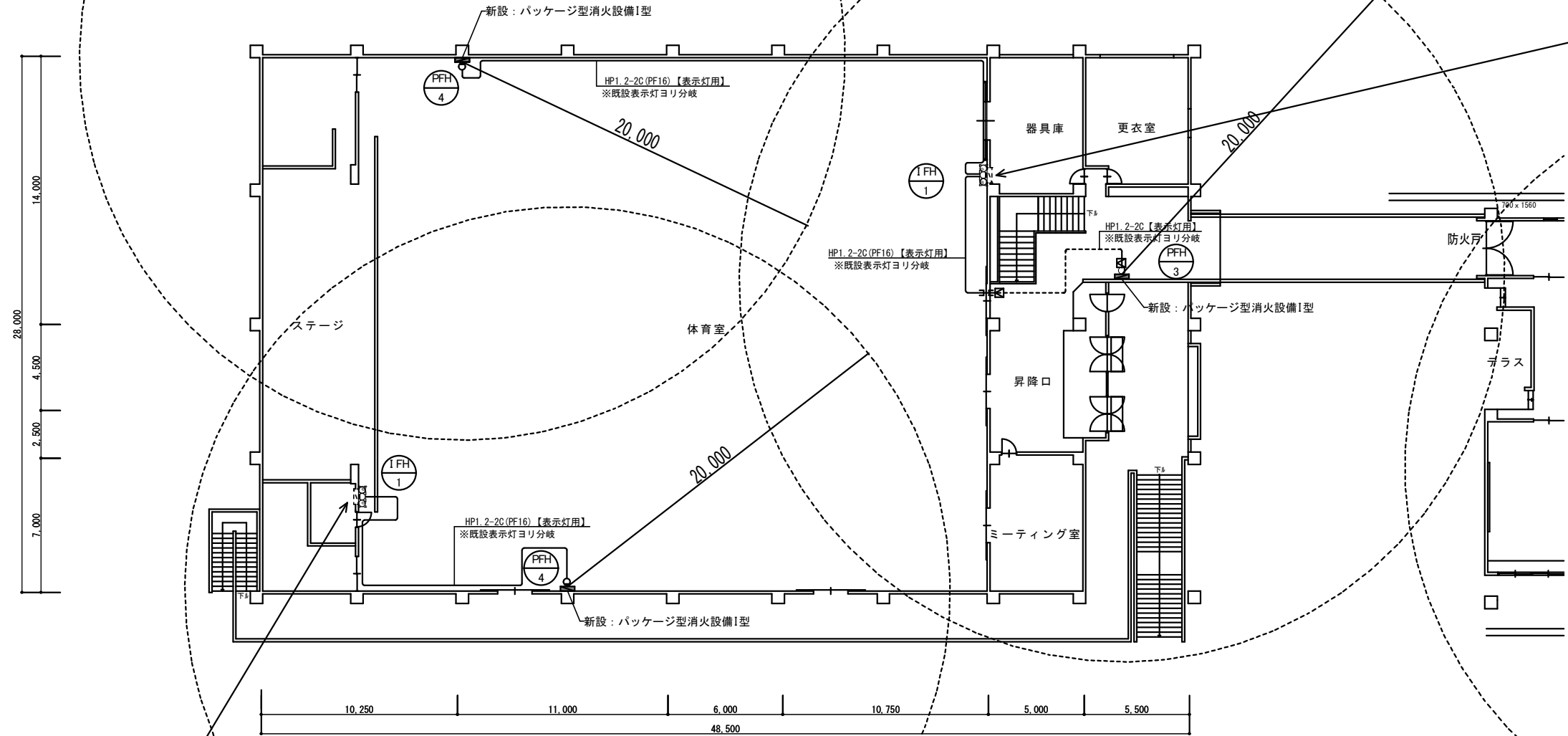


衛生器具表			
記号	名 称	器具仕様	備考
PFH-1	パッケージ型消火設備1型	埋込型 総合盤	* 1
PFH-2	パッケージ型消火設備1型	露出型 総合盤	
PFH-3	パッケージ型消火設備1型	露出型 表示灯	
PFH-4	パッケージ型消火設備1型	露出型 表示灯(プロテクター)	
IFH-1	屋内消火栓 1号(既設)	埋込型 総合盤改修	* 2

- * 1 既設屋内消火栓 撤去 パッケージ消火設備 新設
* 2 既設屋内消火栓 改修(弁 ホース撤去、既設BOXの消火栓文字を消去、総合盤再利用)

☑ - 新設: 天井点検口

パッケージ型消火設備1型 露出・埋込 総合盤/表示灯仕様	
認定番号 PG-053号	
本体仕様	全装備質量: 約181kg(消火薬剤含む) 使用圧力: 0.9±0.05MPa
格納箱	外觀寸法 (露出): 750(幅)×1,360(高)×230(奥行)mm 外觀寸法 (埋込): 750(幅)×1,350(高)×230(奥行)mm 材質: SPOC, 塗装: 合成樹脂粉末焼付塗装(日塗工 N-87) 発信機・ベル取付スペース付(発信・ベル: 電気工事)
消火薬剤	第三種浸潤剤等入り水(品評第16~1号) 薬剤量: 80.4L (約102kg)
放射時間/距離	185秒/約16.0m
使用温度範囲	-20℃~+40℃
ホース	Φ17.0(外径)×Φ13.0(内径)×25m



体育館2階平面図 48,500

工事名	朝日中学校消火栓改修(PAC消火設備設置)工事		
図 名	体育館2階平面図		
縮 尺	1/200	番号	10枚の内 10号
設 計 年月日	令和7年月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号	保木 和幸
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2→A3
(70.7%縮小)